

横浜市の麻疹発生状況

— 平成20年4月30日現在 —

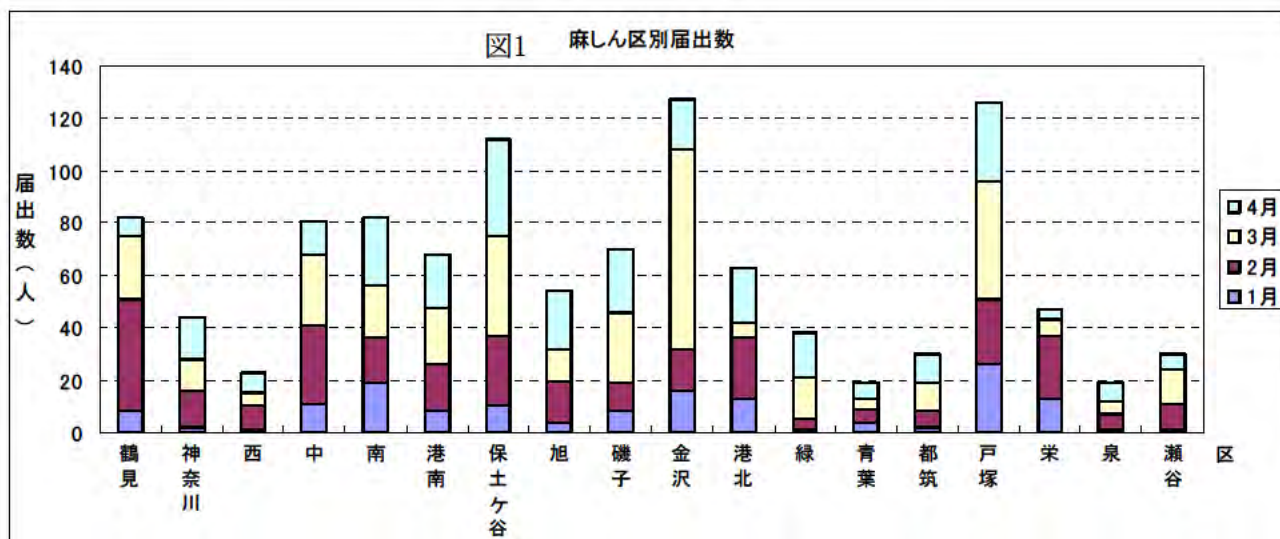
麻疹は、麻疹ウイルス(パラミクソウイルス科)によって引き起こされる感染症です。39℃前後の高熱と耳介後部から始まって体の下方へと広がる赤い発疹を特徴とする全身性疾患です。麻疹に対して免疫を持たない者が感染した場合、典型的な臨床経過としては10～12日間の潜伏期を経て発症し、カタル期(2～4日間)、発疹期(3～5日間)、回復期へと至ります。

しかし、経過中に肺炎(ウイルス性、細菌性)、脳炎、中耳炎等の様々な合併症がみられることもあります。また、亜急性硬化性全脳炎(SSPE)は、麻疹罹患者10万例に1例と発生頻度は低いものの、麻疹罹患後7～10年の期間を経て発症することがある予後不良の中枢神経疾患です。

麻疹は接触感染、飛沫感染、空気感染のどの感染経路もありえます。また、発症した場合には効果的な治療方法はありません。手洗い、うがい、マスク等の感染対策も予防手段として十分な効果は見込めません。現在、唯一有効な予防手段はワクチンの接種のみです。

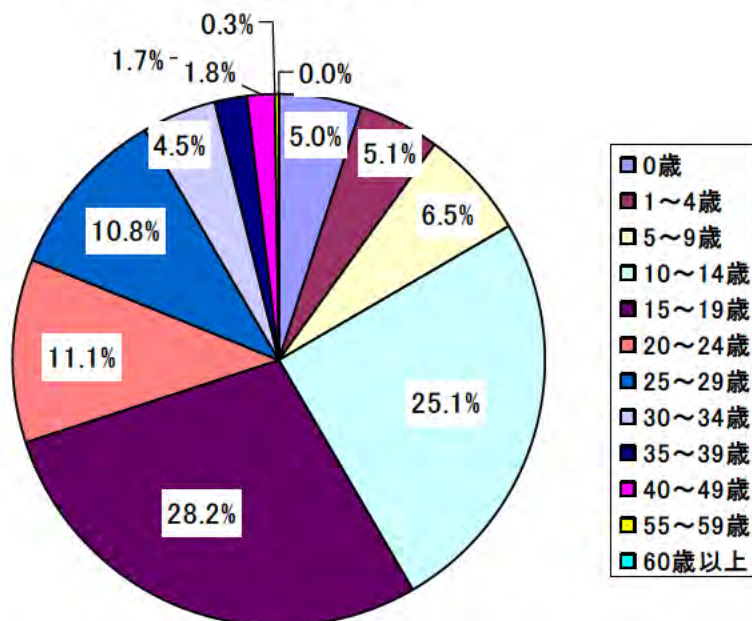
2008年の1月1日から開始された麻疹の全数把握調査によると、横浜市の麻疹患者発生累積報告数は4月30日現在で1,115例あり、行政区別では金沢区127例、戸塚区126例、保土ヶ谷区112例の順でした(図1)。

病型別累積報告数は、臨床診断例859例(77.0%)、検査診断例186例(16.7%)、修飾麻疹(検査診断例)70例(6.3%)となっていて、臨床診断例が最多です。全国(1月1日から4月27日)では臨床診断例の占める割合は64.4%ですので、全国と比較しても横浜市の麻疹の診断において臨床診断の割合が高いといえます。



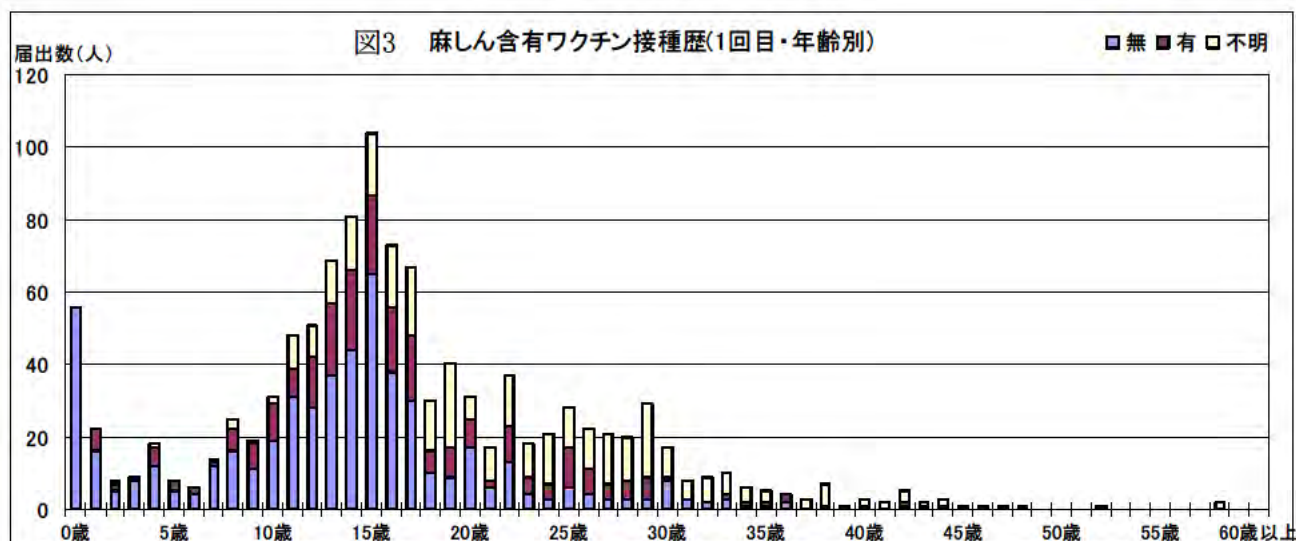
年齢群別の累積報告数では15～19歳314例(28.2%)、10～14歳280例(25.1%)、20～24歳124例(11.12%)、25～29歳120例(10.8%)、0～4歳113例(10.1%)、5～9歳72例(6.5%)の順となっています。10代からの報告割合が半数以上を占めていて、30歳未満からの報告数が全体の90%以上を占めています(図2)。

図2 年齢層別届出数



各年齢別の報告数をみると、15歳104例、14歳81例、16歳73例、13歳69例、17歳67例、0歳56例の順で、まだ麻しんワクチン定期接種の対象とならない0歳児の患者を除いては、13～17歳が現在の患者発生の中心である状態が続いています。

麻しん含有ワクチンの接種歴別の報告数は、全体では接種歴なし541例(48.59%)、1回以上接種251例(22.5%)、接種歴不明323例(29.0%)となっていて、接種歴がない者が最も多く、次いで接種歴不明者、1回接種者の順となっています。年齢が高くなる程発病者中に占める接種歴不明者の割合が多くみられます(図3)。



肺炎の合併例はこれまでに10例が報告されていて、0歳児(3例、30%)、1歳児(1例、10%)からの報告数が多く、15歳以下で9例(90%)と全体の9割を占めています。

脳炎合併例はこれまでに30代男性が1例報告されていますが、麻しん含有ワクチンの接種歴は不明でした。死亡例の報告はありません。

2008年は1月から麻しんの流行がみられ、4月30日現在も麻しんの流行は継続しています。中学校、高等学校、大学等、現在の好発年齢層の集団生活施設内で麻しん患者が発生した場合、初発例の段階で適切な対策をとらなければその後の集団発生に至る可能性が高く、集団発生に至ってしまったから当該施設に対して感染拡大防止策を実施しても、周辺地域への感染拡大を防ぐことは不可能です。そして地域的な流行に発展してしまいますと、広範な年齢層の未接種・未罹患者に対する迅速なワクチン接種のみが、今のところ効果を期待できる唯一の対策です。

横浜市は3月21日から緊急対策として高校3年生以下の未接種・未罹患者に対する無料ワクチン接種を開始しました。また、2008年4月1日より、1回しかワクチンを接種していない年齢層に対する補足的ワクチン接種を目的とした5年間の期限付き措置として、第3期(中学校1年生相当年齢)、第4期(高校3年生相当年齢)の定期予防接種が始まりました。接種対象者がこの機会を逃すことなく、ワクチン接種を受けることができるよう、対象者自身および保護者への正確な情報の伝達とワクチン接種に関する啓発、教育委員会と健康福祉局との緊密な連携と学校現場での積極的な接種勧奨が非常に重要です。

以下に、麻しん関連情報としてのホームページに掲載されている主な項目とそのURLを挙げます。麻しん対策として活用してください。

横浜市における麻しん患者届出状況 (2008年):

<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/rinji/measles/measles.html>

麻しん(はしか)流行に伴う横浜市の緊急対策について

<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/oshirase/mr-kinkyu.html>

関連サイト

国立感染症情報センター麻疹(はしか)

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html>

参考文献

国立感染症研究所感染症情報センター

IDWR(感染症発生動向調査 週報)

【 感染症・疫学情報課 】